

## 高規格・安全・多機能な立体駐車場

### ■ 高規格で長持ちする立体駐車場

立体駐車場は、利用者の方々が円滑に通行や駐車ができるよう、十分な収容台数や安全機能を備えるのみならず、ライフサイクルコストを踏まえた長寿命化や、通常の建築物を上回る耐震性能を確保する計画とします。

#### 1. 庁舎と同様の耐用年数の確保

立体駐車場は、通常、開口部が多く、酸性雨や風雪にさらされることや、自動車の往来、排気ガスの影響などにより、一般的な建物よりも、劣化が早いとされています。

そのため、圧縮力が加えられた頑丈で高強度なプレキャストコンクリート（PC）構造を採用することで、庁舎と同様の耐用年数を確保し、庁舎共用中の建て替えを不要とします。

内容	プレキャストコンクリート（PC）構造	鉄骨構造
耐久性	ひび割れが生じにくく、耐久性に優れる	耐久性を保つため塗装が必要
耐用年数	約100年 ※1	約60年 ※2
耐火性	PCが耐火材の役割 耐火被覆材が不要	耐火被覆材が必要
意匠性	耐火被覆材が無いため、意匠性に優れる	耐火被覆材の露出により意匠性に劣る
メンテナンスコスト	メンテナンス不要	耐火被覆のメンテナンス（概ね10年毎）

※1 一般社団法人 日本建築学会「建築工事標準仕様書」より ※2 国土交通省「損失補償取扱要領」非木造建物の耐用年数より

#### 2. 耐震性能の強化

立体駐車場は、通常の駐車場機能のみならず、防災拠点となる新庁舎を補完する施設として、一般施設の1.25倍の耐震性能を確保します。

立体駐車場の構造部材に採用するプレキャストコンクリートは、部材自体の強化が図りやすいため、駐車場の形状を大きく変えずに駐車スペースを確保しつつ、耐震性能を強化できるメリットを活かしたものです。

耐震性能の分類	対象施設		耐震性能
I類	災害対策の指揮、情報伝達のための施設	本市新庁舎、防災センター、消防、病院	1.5倍
II類	避難所として位置付けられた施設 多数の者が利用する施設	避難所、文化施設、学校施設 社会教育施設、社会福祉施設	1.25倍
III類	その他施設	一般施設 本市立体駐車場	1.0倍

国土交通省「官庁施設の総合耐震計画基準」より

### ■ 円滑な通行や駐車が可能で、安全性に優れた立体駐車場

立体駐車場は、利用者が円滑に通行や駐車ができ、また、万が一の車両事故や故障などが発生しても、迅速な対応が可能となるよう、様々な安全対策を講じた計画としています。

内容	1F	2F	3F	4F	5F	RF	計	現庁舎
一般車両	1	57	82	93	24	97	354	267
ハートフル車両	10	9	8				27	7
小計	11	66	90	93	24	97	381	274
議員優先					38		38	駐車場外
緊急用公用車		1	1	1	3		6	〃
特別職公用車	5						5	〃
観光バス	2						2	〃
合計	18	67	91	94	65	97	432	274
その他 自動二輪車	5						5	駐車場外

### 立体駐車場の安全・通行対策

NO	区分	具体的な内容
1	フラット式駐車場の採用	・各階への上下移動を、駐車場の外周スロープで行う形態 ・事故が発生しやすい上り下りのスロープを分離 ・駐車スペースがフラットな床面になり、安全な駐車が可能
2	動線・幅員・仕上げ	・場内の上り下りの動線は、対面通行式ではなく、一方通行式とし、正面衝突事故を防止 ・幅員は、駐車場法の基準（3.5m）より広く、車路5.5m・スロープ4.0mを確保 ・路面の仕上げは、平面部、スロープ部ともに滑りにくい表面加工
3	車両の誘導・注意喚起	・駐車場案内人の複数常駐によるきめ細かい対応 ・回転灯、ブザー、カーブミラー、満空表示板、監視カメラの設置 ・誤進入防止のため、標識やサインの設置 ・駐車場内の歩行者の安全を確保するため、歩行者通行帯や横断歩道の設置
4	駐車場内外への円滑な移動	・立体駐車場の出入口ともに、それぞれ発券機を2基設置 ・駐車場内の入庫待ちスペースとして、常時7台分のスペースを確保 ・駐車場東側の市道司町2号線の拡幅により円滑な入庫 （現幅員10m→12m・2車線→4車線化により入庫専用車線を設置） ・雨に濡れずに庁舎に移動できるよう、渡り廊下を2、3階に設置
5	公共バス、観光バスの停留・駐車スペース	・拠点的バス停として、連節バスの乗入れも可能な公共バスの停留所、観光バス駐車スペースを整備 ・連絡通路内に時刻表案内やサイン、手すりや点字ブロックを設置
6	車両事故や故障時の対応	・レッカー車が容易に通行できる通路幅や天井高を確保 ・緊急時にも、対面通行が可能な幅広い車路とし、退避経路を確保 ・バッテリー上がりなどに対応できるよう、緊急備品の常備 ・立体駐車場南側にサブスロープを設置し、緊急時における出入口を確保
7	車両転落事故の防止	・自動車が、駐車場の外壁を突き破り転落する事故の防止のため、一般の鉄柵などよりも強固なコンクリート壁の設置（厚さ20cm、高さ65cm（水上）～90cm） ・国土交通省「駐車場における自動車転落事故を防止するための装置等に関する設計指針」適合
8	万一の火災時の対策	・火災報知機による非常放送（サイレンと音声案内） ・迅速な初期消火活動のため、各所に消火器や屋内消火栓を設置 ・消火能力が非常に高い泡消火設備や連結送水管、移動式粉末消火器、屋外消火栓を設置 ・多方向に避難できるように、避難経路の複数設置 ・避難設備として必要となる誘導灯、非常灯に加え、非常用照明も設置 ・建物の配置や高さは、消防車両が近寄りやすく、はしご車も対応可能

### ■ 様々な用途が可能となる多機能な立体駐車場

立体駐車場は、様々な附帯施設とともに、防災・イベント機能をあわせ持つ多機能な駐車場とします。さらに、公共駐車場として、平日の利用はもとより、土日・祝日や開庁時間外の利用を可能とし、つかさのまちや周辺施設のにぎわいを支え、中心市街地の活性化を促進します。

NO	区分	具体的な内容
1	防災機能	・災害時には、大型災害車両の駐留や救援物資の集積、荷捌スペースとして活用 ・災害時の資機材や非常食などの備蓄倉庫（1F：255.9㎡、2F：167.7㎡） ・災害時や荒天時に利用できる男女別シャワー室
2	イベント機能	・屋上階は、様々なイベントなどに活用できるよう、テント足場、電源、水道を整備
3	様々な附帯施設	・雨に濡れずに庁舎に移動できる自転車駐輪スペース（237台 / 全441台） ・計量機器類の搬入が容易な計量検査所 ・資源集積スペース、放置自転車一時保管スペース ・エレベーター2基、電気自動車用急速充電器2基 ・男女別一般トイレ・共用多目的トイレ、駐車場案内人控室、一般倉庫